ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650　　2016.6.7　No. 2419

TAKEFU WEEKLY

Rotary Club of Takefu

Be a gift to the world

2015-2016 RI テーマ
世界への
プレゼントになろう

創　立／1954年（昭和29年）6月30日
事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日／毎週火曜日
会　長／玉村一男

例会場／武生商工会館
幹　事／石本茂雄
会報委員長／宇野賢治

第3004回 例会記録　平成28年5月31日(火)

会員総数 61名

本日出席会員40名
　メークアップ（前々回）　8名
　出席率（前々回補正）69.64％
ロータリーソング「それでこそロータリー」
ゲスト　北陸電力㈱　伊吹奈緒氏

会長挨拶　　第62代会長　玉村一男

今日は新会員として塩田憲康さんを迎える事ができ嬉しい限りです。素晴らしいロータリアンを目指して頑張っていただきたいと思います。また今日はゲスト卓話として先日のRYLAに参加した北陸電力の伊吹奈緒さんに受講報告をしていただきます。

RYLAは、1971年に理事会で採択されたプログラムで、インターアクター、ローターアクター、ロータリアン、および一般の青少年の指導力を開発するためのものであり、地域社会の次世代のリーダーがつながって、アイデアを広げ、行動を起こすきっかけを生み出すと云うのが、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」（Rotary Youth Leadership Awards、通称「RYLA」）のイベントです。RYLAは、異なるニーズと成熟度のレベルに合うように、年齢14歳～18歳や19歳～ 30歳など、異なる年齢層のグループを対象とすることができます。

RYLAのいわれは、1959年オーストラリア・クィーンズランド州の自治権獲得百周年記念祝賀会に、イングランドのエリザベス女王がアレクサンドリア王女を名代として派遣され、これを機会に王女と同世代の青年たちを招いて、王女と会う機会を作ろうという計画がもちあがりました。そしてブリスベンロータリークラブがホストクラブとしてオーストラリア中から青年リーダーたちを集めました。青少年の資質の良さに感心したロータリアン達は、この催しを毎年行う事を決め、各クラブ2名ずつの青年を選んでブリスベンに招待し、1週間、文化・社会・教育プログラムに参加させることにしました。こうしてRYLAは第26地区（現在の第960地区）で生まれ、そして1971年にはロータリーの国際組織であるR.I.にとり上げられ、世界的なプログラムに発展し、1973年にはアメリカで、1974年にはフランスで、さらに1976年には日本でも始められました。そして当地区では1981年に始まり今年は36回目となりました。

RYLAは、若い人々とロータリークラブ会員が共に時間を過ごし、指導力、奉仕の精神を伝え、友愛を深めることに特色があり、若い人々とロータリアンが参加する地区プロジェクトです。そして何よりも大事な事は「ロータリアンは青少年には物質的なものを与えるのではなく、多くの機会こそ与えるべきだ。」との事です。

プログラム

RYLA受講報告

北陸電力㈱　　伊吹奈緒氏

本日は5/20から3日間行って参りました国際ロータリー第2650地区RYLAのご報告をさせて頂きます。今年度は福井県で開催されました。

スケジュールですが、1日目お昼に福井アカデミアホテルに到着し、昼食をとりつつ班の方々と名刺交換。開講式の後に金井学園で林小春先生の講話を聞きます。2日目は午前中に福井県立恐竜博物館へ見学、午後からは永平寺へ行って参ります。そして夕方ホテルへ戻り、藤尾秀昭先生の講話を聞きます。最終3日目は今回のRYLAを通して考えたテーマにそって、各班ごとに発表をし、全てのプログラムを終えます。

全体で受講者が90人程おられ、1班10人程の全部で8班で構成されており、私は2班でした。班員の方々には福井の有名居酒屋の支配人さん、幼稚園の先生、京都大学生、金融企業の方、証券会社の方、美容師さんなど滋賀・京都・奈良から個性的なメンバーが揃っておりましたが、とても仲の良い班でした。

2日目のスケジュールを終え、夜は1日目の夜と同様班員で最終日に控えている発表について討論しました。私は今まで自分の言葉にあまり自信がなかったので、発言は控えめなほうでした。しかし藤尾先生の話を聞いたからか、今回は思ったことを素直に積極的に発信することができました。

最終日、金井学園の講義室で今回のRYLAのテーマであった「日本人の心と精神」について班ごとの発表を行いました。私たち2班の発表内容をまとめると、「昔の日本は確かに偉人が多く徳のある人間が多かったように思う。しかし昔の日本と今の日本では状況が違うため、昔と同じようなことをしようとしてもなかなか難しい。確かに今、成人の学のうちの人間学の部分が養われていない人間が多い。おもてなしと言いながらもそこに本来の意味を持って行動している日本人は少ない。ただビジネス上の利益の為だけに一方的におもてなしをしているに過ぎないのではないか。おもてなしという技術、つまり時務学だけが先走りしているだけのように思う。日本の良いところはたくさんあるのだ。それに人間学を備えれば、もっと日本の文化は発展していくのではないか。まずはここにいる私たちが今回学んだことを他者に発信し、人生に火をつけてあげよう」という内容で発表しました。

最後に私がこの経験を通して感じたことをお話しさせて頂きます。この3日間、得たものはとても多かったです。まずは出会い。様々な職種の方に出会い、新鮮な話をたくさん聞けました。仕事面についてもプライベート面についても年上の経験豊富な先輩ばかりでした。仲良くもなれましたし、また何ヶ月後かに集まろうと約束もしました。次に自分の思いを主張すること。今までに社外、社内含めたくさんの研修を受けさせて頂いておりますが、今回ほど自分で思いを発信できたことはなかったように思います。そして頑張ろうという気持ち。これは講師の方々からも班員の方々からも刺激を受けました。まだ人任せに動いている人たちも中にはいましたが、自分の目標に向かってひたむきに生きている方々が多かったです。藤尾先生の話にありましたが、自分が動かなければ、日本はこれからどうなるんだろう？私はこのまま何となく生涯を終えることができたとしても、私達の子孫はどうなっているのだろう？堂々と日本人として生きていける時代になっているのだろうか？と感じました。

恥ずかしながら私には「人生のテーマ」というものがまだありません。敢えて言うなら幸せに生きることでしょうか。もしそうであっても、それを私がどうしたら幸せになれるかを一直線に考え、徹底して価値を見出そうとするのであればそれをテーマにするのも良いですよね。何事も前向きに考えてみよう、と感じました。

RYLAに参加できて本当によかったです。私にこのような機会を与えて下さったロータリークラブの皆様には本当に感謝しております。ありがとうございました。研修で得たものを今後の人生に役立てていきたいと思います。

報告事項

新入会員紹介

塩田　憲康さん
（しおだ　のりやす）
生年月日／昭和46年8月28日
職業分類／業務用食品卸
事 業 所／有限会社シオタ
役　　職／代表取締役
家　　族／妻、長女、長男、次女
推 薦 者／白﨑弘康会員

ニコニコ箱 …… 40,000円　　累計 1,245,600円

例会変更情報／福井県内ビジター受付（6月8日～6月21日）

6月17日 福井あじさいRC　12:00～12:30　ホテルリバージュアケボノ
6月20日 福井東RC　　12:00～12:30　アオッサ1階ロビー
＊変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日（6月7日）の例会	6月14日	6月21日	6月28日
第一例会行事 会員卓話 渡辺佳男会員	ゲスト卓話	最終例会	休　会